

◆ファシリテーター プロフィール
(ワークショップをナビゲートするアーティスト)



★砂連尾 理 (じゃれお・おさむ)

振付家・ダンサー。1991年、寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を展開し、舞台作品だけでなく障がいを持つ人や老人との作品制作やワークショップを手がける等、ジャンルの越境、文脈を横断する活動を行っている。2002年7月「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」「オーディエンス賞」W受賞。2004年度京都市芸術文化特別奨励者。2008年より一年間、文化庁・新進芸術家海外留学制度の研修員としてベルリンに滞在。近年の作品に「Thikwa-Junkan Project」、「とつとつダンス」等がある。立命館大学、神戸女学院大学、近畿大学、天理医療大学非常勤講師。

★西川文章 (にしかわ・ぶんしょう)

ギター、即興演奏家、コンポーザー、エンジニア。即興演奏家として国内外の多数の演奏家と共演し、ティムオリーブとのデュオを初め、数枚のリリース作品がある。“とてもおだやかだけれど、実は結構辛辣で、でも唾を吐かない輩。そして何よりも音楽家、エンジニアとして優れている。だから、これまで、ここぞという時にいろいろお願いしていたりする。ウチ以外でも、クセのある野郎どもの演奏を見事にパッケージ、とにかく任せて安心なんです (MAP/COMPARENOTES小田晶房談)”



撮影：五十川あき

★望月茂徳 (もちづき・しげのり)

筑波大院、博士 (工学)。インタラクティブ・メディアと映像表現について研究を行う。また、研究室学生と「劇団ティクバ+循環プロジェクト」(振付：砂連尾理)、快快-faifai-「SHIBAHAMA」などの舞台美術制作も手がける。2005年、独立行政法人情報処理推進機構より「天才プログラマー/スーパクリエイター」認定。立命館大学映像学部准教授。
<http://mochi.jpn.org/>

★伴戸千雅子 (ばんど・ちかこ)

コンテンポラリーダンサー、振付家。演劇、バリダンス、舞踏などを学び、98年からダンスグループ「花嵐」を立ち上げ、女性の身体をテーマとした作品の創作を行う。近年は、視覚障害などさまざまな障害を持った人との身体を通じた出会いに刺激を受け、ワークショップを積極的に行っている。また、一児の母となつてからは「なんちゃってアフリカン」など、親子で参加できるワークショップをママコミュニティと開催。他に、即興の会を月1回 (10年目!) 開催し、家族で参加している。<http://chikakobando.jimdo.com/>



撮影：草本利枝



撮影：草本利枝

★よこちゃん

病院勤務のかたわら、歌をつくり、歌をうたい、時におどる。シン☆ヨコエバンドという家族をメンバーにしたバンドを主宰。

茨木市文化振興財団ダンスプロジェクト



表紙写真：草本利枝

コミュニティダンス体験ワークショップ

【インディペンデント・ステージ編】ファシリテーター：砂連尾 理 他

2013.2.10 (日) ①10:00~13:00 ②14:00~17:00

【家族でダンス編】ファシリテーター：伴戸千雅子 他

2013.3.20 (水祝) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00

@茨木クリエイティブセンター・多目的ホール

「ココロとカラダを動かせば、それはもうダンス！」

コミュニティダンスとは、
子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、一般の人々がダンスアーティストとともに地域や教育現場などで行う創造的な表現活動の総称です。

茨木市文化振興財団では、
「体を動かす楽しさ」「表現する楽しさ」「交流する楽しさ」をあらゆる世代の方に体感していただくことを願い、コミュニティダンスのプロジェクト「茨こみゅダンス」を始めます。
ナビゲートするアーティスト（ファシリテーター）は、大阪・高槻市在住の砂連尾理（じゃれお・おさむ）、伴戸千雅子（ばんど・ちかこ）、他。
今回は、〈インディペンデント・ステージ編〉と〈家族でダンス編〉の二つの体験ワークショップを開催します。
いずれも、入門編となっていますので、踊ったことがない方もウェルカム。一緒にダンスライフを楽しみましょう！

◆主催：公益財団法人茨木市文化振興財団 ◆企画協力：NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN） ◆後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

【インディペンデント・ステージ編】

人と音と明かりとダンス・ダンス・ダンス

◆ファシリテーター：砂連尾 理(ダンス)、西川文章(音)、望月茂徳(明かり)

ダンスしながら、音と明かりが全て同時に発生する、そんなパフォーマンスを作ってみませんか。
全体進行＆ダンス＝砂連尾理、音＝西川文章、明かり＝望月茂徳の三人があなたをナビゲートします。
先ず最初はダンスの時間。特別なテクニックは必要ありません。歩くや走る、腕を振る、拍手やジャンプ等、
普段の生活の中で行っている動作や行為がダンスになっていきます。
そして次は、音の時間。ダンスするときに生まれる足音や、息遣い、服が擦れる音等、身体から発生する音に
意識を向け、音を産み出していきます。
最後は、明かりの時間。動きや音に反応するセンサーといったインタラクティブ・メディアのテクノロジーによっ
て、自分の動きが明かりに変わります。
いずれの経験がなくても大丈夫！ 私たちは皆、生まれながらにしてダンサーであり、ミュージシャンです。そし
て空のお天道様と会場の電源を使えばどこでも明かりは生まれます。自由に身体を動かしながら、あなただ
けの舞台(シアター)と一緒に作りましょう！

- ◆日時
2月10日（日）①10:00～13:00／②14:00～17:00（開場はいずれも30分前）
各回同じ内容のワークショップを行いますので、どちらかにお申込みください。
- ◆募集対象・定員
中学生以上、各回30人
- ◆参加料
各回500円／1人
- ◆その他
動きやすい服装、上履き、水分補給のための飲み物持参



撮影：加藤文典

【家族でダンス編】

家族で「ダンス」を作ってみよう！

◆ファシリテーター：伴戸千雅子(ダンス)、よこちゃん(シン☆ヨコエバンド主宰)

親、子、兄弟姉妹、夫婦。祖父母と孫。とても身近で、とても濃～い結びつきを持った小さなコミュニティ〈家
族〉。そんな家族が言葉じゃなく、ダンスでお話する時間を持ったなら、一体どんなことになるのでしょうか。
コンテンポラリーダンサーの伴戸千雅子とその夫よこちゃん（夫婦の間に5歳の息子あり）が、家庭やライフハ
ウスなどでの「家族でダンス」の実践を紹介しつつ、ゆるやか～にナビゲート。家族で表現する楽しさを分かち
合えたらと思います。

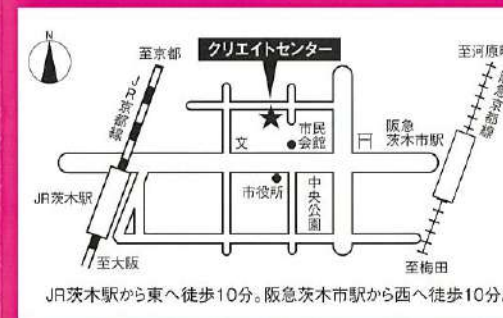
- ◆日時
3月20日（水祝）①10:00～12:00／②14:00～16:00（開場はいずれも30分前）
各回同じ内容のワークショップを行いますので、どちらかにお申込みください。
- ◆募集対象・定員
各回10家族（30人程度）
夫婦、親子（父子、母子、祖父母と孫でも）、兄弟姉妹など家族単位でお申し込みください。
2人以上であれば、年齢・性別は問いません。
- ◆参加料
各回1,000円／1家族
- ◆その他
1）踊ってみたいCDや使いたい小物楽器があればお持ちください。（なくてもOKです。）
※会場の環境上、あまり大きな音のものはお控えいただきますようお願いいたします。
2）動きやすい服装、上履き、水分補給のための飲み物持参



★12月17日（月）9:00電話予約開始／定員に満たない場合は翌日から窓口受付開始／チケットをお求めください（当日のご精算もお受けします）

★会場
茨木市市民総合センター クリエイトセンター・多目的ホール
※床はフローリングです。土足禁止のため上履きが必要です。
更衣室はございます。

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号／072-624-1726



★お申込み・お問合せ
（公財）茨木市文化振興財団・文化事業係
072-625-3055（茨木市市民会館ユーアイホール1階9:00～17:00）
12月17日（月）は電話予約のみ。チケットのお引き取り、窓口販売は翌日から下記の
チケットカウンターで。
●ユーアイホールチケットカウンター 9:00～17:00
●クリエイトセンターチケットカウンター 9:00～17:00